

特集

熱い走り、熱い応援

第96回

箱根駅伝予選会



43校が箱根出場10枠を競う!

正月の風物詩ともなった箱根駅伝（1月2、3日）。その大舞台への出場権をかけた戦いが、去る10月26日（土）、東京・立川の国営昭和記念公園で開催された。陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、市街地を抜け、昭和記念公園でゴールする21.0975kmのハーフマラソンコース。各大学10～12人のランナーが走り、上位10名の合計タイムを競う。予選通過の10位以内を目指し、火花を散らした43大学。各校の応援合戦も熱い。専大も学生、教職員、校友会、育友会員が一丸となって声援を送った。

長谷川柊選手が日本人トップ争い

スタート地点は陸上自衛隊立川駐屯地の滑走路。前日の豪雨がまるで嘘のように晴れ渡り、43大学の選手がスタートの時を今か今かと待ち構える。

9時35分、青空に号砲が鳴り響き、504名のランナーが一斉に走り出す。足音は地響きとなり、大声援が渦を巻く。

立川駐屯地内を3周した後、立川市内の一般道へ。日本人ランナーの先頭集団には専大のエース長谷川柊選手（商4）。

立川市街を抜ける10km地点で専大の順位は10位。ぎりぎりの戦いに応援する者も手に汗を握る。



専大ランナーの勇姿

14km から昭和記念公園内のコースに入る。アップダウンのあるコースをチームのために最後の力を振り絞って走るランナー。コースわきを埋める観衆はその姿を声で後押しした。写真は、ゴールまで残り 1km 地点での専大ランナーの様子。



長谷川 柁選手
HASEGAWA Shu
商 4
八海高 (新潟県)



大石 亮選手
OISHI Ryo
経営 3
美祢青嶺高 (山口県)



小林 彬寛選手
KOBAYASHI Akihiro
経営 4
専大松戸高 (千葉県)



宮下 晴貴選手
MIYASHITA Haruki
文 4
東海大諏訪高 (長野県)



横山 紇史選手
YOKOYAMA Shunji
経営 3
滝川西高 (北海道)



南 美空翔選手
MINAMI Mikuto
文 2
樟南高 (鹿児島県)



佐々木 詩音選手
SASAKI Shion
経営 2
専大北上 (岩手県)



市来原 潤選手
ICHIKIHARA Jun
商 3
鹿児島商業高 (鹿児島県)



塚原 淳之選手
TSUKAHARA Atsushi
商 4
那須拓陽高 (栃木県)



横山 佑羽選手
YOKOYAMA Yu
文 2
三浦学苑高 (神奈川県)



国増 治貴選手
KUNIMASU Haruki
経営 1
豊浦高 (山口県)



鹿嶋 則宏選手
KASHIMA Norihiro
経営 3
水島工業 (岡山県)



公園内「みんなの広場」に設置されたモニターで戦況を見守る観衆



近郊支部から 応援参加、 声援でランナーを後押し

育友会をはじめとした応援団は昭和記念公園内の応援ポイントに集合。本部役員のほか、東京A・B・C・多摩、神奈川東・西、埼玉、茨城（水戸）など、近郊の支部からも多数の会員が駆け付けた。専大ランナーが姿を見せると、あらん限りの声でエールを送った。

予選会の応援は今回で2度目です。専修大学の皆さんが盛り上がり応援している姿がすごく嬉しいです。この思いが選手たちに伝わるといいなと思って応援しました。

東京A元支部長
田中敦子さん



埼玉支部の10名で応援に来ました。ほとんどの人が初めての応援でした。マラソンレースを間近で見ると初めてだったので、すごく新鮮でした。学生の頑張っている姿に感動。応援もたくさんの方が来て、一体感があってすごくよかったです。



埼玉前支部長
松田功一さん



全選手ゴール、そして結果発表

全選手がゴールした後、ゴール近くの「みんなの広場」に大学ごとに選手と関係者が集まり、結果発表の時を待つ。歓喜と涙の境界線の10位。果たして結果は…。



奮闘の結果14位、本戦届かず

6年ぶりの出場を目指して挑んだ予選会。総合順位14位（総合時間11時間01分57秒）となり、残念ながら出場権獲得とはならなかった。しかし、死力を尽くした選手たちに、取り囲む人々からは温かい拍手が送られた。

気温も高いなか難しい走りだったと思います。しっかりと練習した末の結果です。一年間やってきたことを振り返り、よい点、悪い点を分析して、次に向けて頑張っていきたいと思います。



長谷川 淳 陸上部監督 (H19 経済卒)



宮下晴貴 主将 (文4)

正直言うと自信もあったし、良いチームを作ってくれたと思うので、この順位はすごく悔しいです。その気持ちはみんな同じだと思います。これから、この悔しさを忘れずに一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。今日はたくさんの応援ありがとうございました。



↑全学応援団から陸上競技部の健闘にエールが贈られた

順位	大学名	記録
1位	東京国際大学	10時間 47分 27秒
2位	神奈川大学	10時間 50分 55秒
3位	日本体育大学	10時間 51分 07秒
4位	明治大学	10時間 51分 42秒
5位	創価大学	10時間 51分 52秒
6位	筑波大学	10時間 53分 18秒
7位	日本大学	10時間 54分 27秒
8位	国士舘大学	10時間 55分 27秒
9位	早稲田大学	10時間 55分 28秒
10位	中央大学	10時間 56分 59秒
11位	麗澤大学	10時間 57分 12秒
12位	駿河台大学	10時間 58分 49秒
13位	上武大学	11時間 05分 18秒
14位	専修大学	11時間 01分 49秒
15位	城西大学	11時間 02分 42秒

↑ボードに掲示された順位



お疲れ様でした! 来年こそは本戦へ!!